

岩手県知事が復興支援感謝イベントをニューヨークで開催

ニューヨーク事務所

■ トモダチでありがとう

2013年8月26日、ジャパンソサエティの舞台に立った岩手県の達増拓也知事へ、約200名の参加者から熱い拍手が送られた。岩手県知事が開催した復興支援感謝イベント「トモダチでありがとう～東日本大震災津波岩手県復興報告～」のことで。

達増知事は、震災被害の大きさ、震災後2年を経過した今、岩手県がどのように復興対策に取り組んでいるかについて英語でプレゼンテーションを行いました。岩手県が困難に負けず、力強く復興に向けて頑張っていること、そしてそれを支えているのは、日本国内のみならず、世界中からの暖かい支援のおかげであることが述べられました。とりわけ、米国は日本にとって最大の支援国です。米軍の「トモダチ作戦」や多くの義援金などの支援がいかに日本の力になったかを日本人は決して忘れないとして、心からのお礼が述べられました。

また、米国 국무省 海外担当のドリュー・シュフレッツスキー氏、米日カウンシル理事グーリー・モリワキ氏から、日米の友情が今後も続いていくことを祈念するスピーチが行われました。



写真を用いながら英語でプレゼンを行う達増拓也
岩手県知事



米国 국무省のドリュー・シュフレッツスキー氏と
握手を交わす岩手県知事

さらに、復興支援のため、岩手県や宮城県などの避難所をめぐり、歌で被災者を元気づける活動を続けているカリフォルニア州在住の歌手、八神純子さんによるミニコンサートが行われ、被災地の子供が描いてくれたカードにインスピレーションを受けて作ったという「かれ木に花を咲かせましょう」や復興応援ソング「翼」などが披露されました。岩手県は、もともと水産業が盛んですが、津波で壊滅的な被害を受け、震災後漁ができなくなりました。八神さんが地元の漁師さんに、今一番必要なものは何かと伺ったところ、船のエンジンが欲しいとの答えが返ってきました。早速寄付を募る活動を開始した八神さん。そして、八神純子と刻まれたエンジンのついた船で漁師さんと一緒に漁に出る八神さんが

スクリーンに映し出され、そこでは、念願の牡蠣の漁が再開されていました。地元に入り、現場で本当に必要とされる支援をしている八神さんの活動は、見ている参加者の胸を打つものであり、会場で涙を拭う参加者も見られました。

また、引き続き行われたレセプションでは、いわて牛のステーキやしゃぶしゃぶなど県産品を使った料理や地元の酒の PR も行われました。さんさ踊りや岩手県民謡協会による演奏などもあり、岩手県の復興への意気込みと魅力がアピールされ、参加者は高い関心を寄せていました。さらに、会場には復興の様子を伝える写真展示もありました。

■ 意義深かったイベント

今回はメインイベントである復興状況報告及び支援へのお礼だけではなく、昨年米国への輸出を開始したいわて牛など県産品のプロモーション、さんさ踊りなどの文化紹介、ステージ上で英語劇「葉っぱのフレディ」を好演した小学生3人と高校生10人を含む青少年育成など、多くの副次的効果のあるイベントとなりました。また、渡米中の同県二戸市長も参加し、南部美人などの日本酒をアピールするなど、県と市が連携した総合的なプロモーションとしても効果を上げました。

当事務所関係としては、岩手県 JET として、英語教育に携わった JETOB4 名もイベントに出席し、知事と対面を果たしました。JET 参加者からは、このような形で、米国で岩手県のイベントに参加できたことは本当にうれしく、今後も日米の友好発展に協力していきたいとのコメントがありました。

今回のイベントは、入場、退場時の高校生による出迎え、見送りなど、岩手県の真心が参加者に届くような配慮が感じられるイベントでした。日本の自治体がこのようなイベントを独自で主催されたことに敬意を表するとともに、クリアとして今後もこのような自治体の取り組みへの支援を積極的に行っていきたいと思えます。



歌手の八神純子さんと英語劇「葉っぱのフレディ」を好演した小学生



岩手県知事、JET のメンバー、当事務所の記念撮影

(鷲岡所長補佐 和歌山県派遣)